

収穫の秋 ～子どもたちのこぼれる笑顔～



加美町農業委員会では、食農教育推進事業の一環として、町立の認定こども園・保育所・幼稚園児を対象に、さつまいも栽培を30年継続して行っている。

今年は、140名の子どもたちが町内3箇所の圃場に分かれて参加し、10月21日に、おのだひがし園と、おのだにし園で収穫体験

を行った。ほか2か所の圃場についても順次収穫を行う予定だ。

5月に子どもたちが植付したさつまいも畑は、農業委員が定期的に除草作業などの管理を行ってきた。昨年はイノシシの侵入が見られたことから、今年は6月中旬に鳥獣被害防止対策として電気柵を設置し、順調な生育を見せていた。

そのような矢先、各地で甚大な被害をもたらした台風19号により、圃場が水没する被害に遭い、一部収穫できない場所もあった。

今回収穫したさつまいもは、家庭に持ち帰るほか、各園で焼き芋などにして子どもたちに振る舞われる予定。



加美町農業委員会の三浦泉会長は「今後もさつまいも栽培を通して、将来を担う子どもたちに、農業と食のつながりの大切さを伝えていくことも、我々の大切な役割だ」と語っていた。